

Web アプリケーション

<http://java.sun.com/javaee/5/docs/tutorial/doc/geysj.html>

Web アプリケーションの 2 つのタイプ

プレゼンテーション指向

HTML や XML を使用し、動的で対話的な web ページを生成

サービス指向

Web サービスのエンドポイントを実装する。

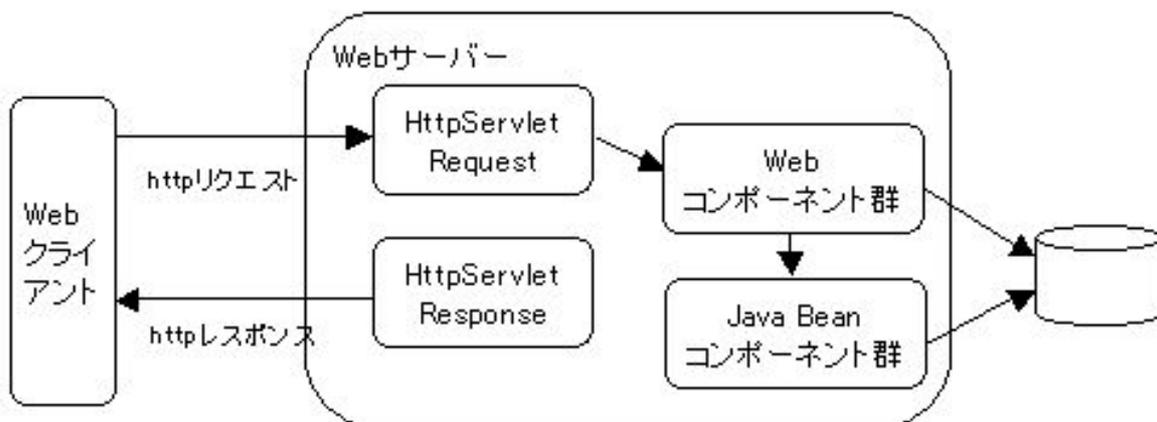
プレゼンテーション指向のアプリケーションが、サービス指向アプリケーションのクライアントであることもある。

Web アプリケーション

Web コンポーネント (Servlet、JSP、Web サービスエンドポイント) は Web サーバーに、動的な表現力を付与する。

Web クライアントと Web アプリケーションの相互作用は下図。

1. クライアントは Web サーバに HTTP リクエストを送信
2. Web サーバー (Servlet、JSP) はリクエストを HttpServletRequest オブジェクトに変換
3. HttpServletRequest オブジェクトは、Web コンポーネントへ届けられ、動的なコンテンツを生成
4. Web コンポーネントは、HttpServletResponse オブジェクトを生成するか、リクエストを別のコンポーネントに渡す
5. Web サーバーは、HttpServletResponse オブジェクトを HTTP レスポンスに変換し、クライアントへ戻す



- Servlet は、動的にリクエストを処理し、レスポンスを作成する Java クラス。
- JSP は、Servlet として実行されるが、静的なコンテンツのように作成できるテキストベースのドキュメントどちらを利用することも可能だが、それぞれの得意がある。
- Servlet は、サービス指向アプリケーションのエンドポイントに、また、プレゼンテーション指向アプリケーションのコントローラに最適
- JSP は、HTML、SVG、WML や XML のようなマークアップをテキストベースで作成するのに適している。